

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>

2025.4
SPRING No.27

熊本県サッカー協会広報紙

2025年3月31日発行 通算第111号

発行者/一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

特集 「くまもとサッカーフェスタ」開催

1月18日・19日の2日間、熊本市中央区の花畑広場で、熊本県サッカー協会主催「くまもとサッカーフェスタ」を開催しました。両日も、サッカーに触れるさまざまなコンテンツが用意されたほか、ステージには、日本サッカー界に偉大な足跡を残したレジェンド級のゲストやサプライズゲストも登場。2日間で延べ22,000人が来場する賑わいを見せました。



サッカー界のレジェンドらも続々登場！
2万人を超える来場者がサッカーに触れる



さまざまなコンテンツを通じて、サッカーを知ってもらう「場」に

花畑広場に隣接する熊本城ホールの開業5周年記念イベントとして行われた「くまもとサッカーフェスタ」。同イベントは、同じく1月18日・19日に熊本城ホールで開催された「JFA指導者研修会2025 第14回フットボールカンファレンス」に合わせて企画されました。

「フットボールカンファレンス」は、世界の著名な監督・コーチを招くほか、アジアからも多くのサッカーファミリーを招いて開かれている日本サッカー協会主催の指導者研修会です。そうした大規模なカンファレンスが熊本で開催されるまたとない機会に、多くの方々にサッカーに触れる場を提供したいとの思いで開いたのが「くまもとサッカーフェスタ」です。

会場には、3×3サッカー体験&大会や、おなじみのキックターゲット、シユートの速さを計測するスピードガンサッカーなどのほか、障がい者サッカー体験が出来るコーナーなど、サッカーに触れるさまざまなコンテンツが用意されました。その他にも、パルクル鬼ごっこやドローン体験、スポンサーブース、さらにグルメゾーンも設けられ、2日間とも親子連れなどで賑わいました。

また、会場内に設置された特設ステージでは、熊本県出身の元プロサッカー選手・巻誠一郎氏をはじめ、日本サッカー協会の宮本恒靖会長、元プロサッカー選手の小野伸二氏などが登壇し、未来の日本サッカーを担う子どもたちに熱いメッセージを送りました。

花畑広場に隣接する熊本城ホールの開業5周年記念イベントとして行われた「くまもとサッカーフェスタ」。同イベントは、同じく1月18日・19日に熊本城ホールで開催された「JFA指導者研修会2025 第14回フットボールカンファレンス」に合わせて企画されました。

「フットボールカンファレンス」は、世界の著名な監督・コーチを招くほか、アジアからも多くのサッカーファミリーを招いて開かれている日本サッカー協会主催の指導者研修会です。そうした大規模なカンファレンスが熊本で開催されるまたとない機会に、多くの方々にサッカーに触れる場を提供したいとの思いで開いたのが「くまもとサッカーフェスタ」です。

会場には、3×3サッカー体験&大会や、おなじみのキックターゲット、シユートの速さを計測するスピードガンサッカーなどのほか、障がい者サッカー体験が出来るコーナーなど、サッカーに触れるさまざまなコンテンツが用意されました。その他にも、パルクル鬼ごっこやドローン体験、スポンサーブース、さらにグルメゾーンも設けられ、2日間とも親子連れなどで賑わいました。

また、会場内に設置された特設ステージでは、熊本県出身の元プロサッカー選手・巻誠一郎氏をはじめ、日本サッカー協会の宮本恒靖会長、元プロサッカー選手の小野伸二氏などが登壇し、未来の日本サッカーを担う子どもたちに熱いメッセージを送りました。

| 2025明治安田生命J2リーグ / ロアッソ熊本ホームゲーム日程 | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|------|-----------------------------|------|
| 日程 | 対戦相手 | 節 | 日程 | 対戦相手 |
| 第7節 | 3月30日(日) 13:00 vs サガン鳥栖 | 第22節 | 7月 6日(日) 18:00 vs ジュビロ磐田 | |
| 第8節 | 4月 6日(日) 13:00 vs カターレ富山 | 第24節 | 8月 3日(日) 19:00 vs 水戸ホーリーホック | |
| 第10節 | 4月20日(日) 13:00 vs ベガルタ仙台 | 第26節 | 8月16日(土) 19:00 vs 藤枝MYFC | |
| 第12節 | 4月29日(火・祝) 14:00 vs ジェフユナイテッド千葉 | 第29節 | 9月15日(月・祝) 時間未定 vs 徳島ヴォルティス | |
| 第14節 | 5月 6日(火・休) 15:00 vs FC今治 | 第32節 | 10月 5日(日) 時間未定 vs いわきFC | |
| 第15節 | 5月11日(日) 15:00 vs 愛媛FC | 第34節 | 10月26日(日) 時間未定 vs 大分トリニータ | |
| 第17節 | 5月25日(日) 16:00 vs ブラウブリッツ秋田 | 第35節 | 11月 2日(日) 時間未定 vs レノファ山口FC | |
| 第20節 | 6月22日(日) 13:35 vs V・ファーレン長崎 | 第38節 | 11月29日(土) 時間未定 vs ヴァンフォーレ甲府 | |

※会場はいずれも「えがお健康スタジアム」

■試合日程・チケットに関する詳しい情報はロアッソ熊本公式HPをチェック!

<https://roasso-k.com/>





特集 「くもとサッカーフェスタ」開催 2日間にわたり熱気に包まれた会場 「サッカー」の持つ魅力・楽しさが全開!



イベント&体験ブース

会場となった花畑広場には、サッカーの体験ブースのほか、子どもたちが楽しめるさまざまなイベントが用意され、中には長蛇の列が出来るほどの人気のブースもありました。また、協賛企業のブースやグルメゾーンもあり、これまでサッカーに触れる機会が少なかった人々も訪れて、思い思いに過ごしていました。

キックターゲット



スピードガンサッカー



3×3サッカー体験/大会



障がい者サッカー体験



パルクール鬼ごっこ



ドローン体験



スポンサーブース&グルメゾーン



ステージイベント

会場内に設置された特設ステージには、日本サッカー界に名を残したレジェンドの方々や現役選手らが登壇し、サッカーにかける思いを語ったり、トラップなどの妙技を披露したりして、サッカーをしている子どもたち・これからサッカーをやりたいと思っている子どもたちに向けての熱いメッセージを送ってくれました。登壇者とそのコメントの一部を紹介します!

巻 誠一郎さん
元プロサッカー選手



サッカーを通じて、協調性や課題解決能力など、人生に必要な多くのことを学びました。皆さんも、サッカーに限らず、さまざまなことにチャレンジしてください。それぞれに学ぶことがあり、きっとこれからの皆さんの人生に役立つと思います。

影山 雅永さん
日本サッカー協会技術委員長



「サッカー」とひと口に言っても、「3×3」やさまざまな障がい者サッカーなど、多様な形態があります。年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが自分に合ったスタイルのサッカーを楽しむことは、日本代表が強くなることと同じくらい重要です。

宮本 恒靖さん
日本サッカー協会会長



サッカーには、社会をより良くする力があると信じています。その力を発揮するためには、サッカーをプレーする人にも、応援する人にも、もっとサッカーを好きになってもらいたい。それが、地域の未来を明るくする手助けにつながります。

赤崎 蛍さん
ロービジョンフットサル選手



サッカー(ロービジョンフットサル)のおかげで、「日本代表」など、普通では経験出来ないことができています。私たちのプレーする姿を見て、ぜひ「こんなことも出来るんだ!」と驚いてほしいですね。

井原 正巳さん
元プロサッカー選手



Jリーグ発足、W杯出場などを通じて、サッカーが徐々に地域に根付き、「文化」になりつつあると感じています。日本代表のレベルも、世界のトップに近づきつつあるので、これからますます楽しみです。

小野 伸二さん
元プロサッカー選手



サッカーを続けていると、練習やケガなど、楽しいことよりも苦しいことの方が多いと感じられることもあります。でも、サッカーは決して1人ではなく、チーム全員で支え合って成り立っています。苦しくてもあきらめずに頑張ってください。

原 一樹さん
元プロサッカー選手



保護者の皆さんは、頑張っている子どもたちに否定的な言葉を掛けないでほしいと思います。言いたいことがあってもグッと我慢してサポートしてあげることが、必ず子どもたちの成長にもつながります。

森保 一さん
サッカー日本代表監督



サッカー日本代表は、「W杯優勝」という目標を掲げています。チームだけでなく、国民が一つになってチャレンジすれば、必ず「世界一」になれると信じています。そのためには、皆さんがもっともっと多くの人をサッカーに巻き込んでいってください。

KUMAMOTO SOCCER FESTA OFFICIAL PARTNERS



2024年度 表彰式並びに祝賀会

昨年度も各カテゴリーで県関係選手・チームが躍動！ 「全国有数のサッカー王国」にまた一歩

1月25日、熊本市中央区のメルパルク熊本にて、熊本県サッカー協会の「2024年度表彰式並びに祝賀会」を開催しました。まず、主催者を代表して熊本県サッカー協会の河田信之会長が挨拶。「今年度は、各カテゴリーの日本代表への県出身選手の選出、ソレツコ熊本(U-12)や大津高校(U-18)の全国大会優勝、さらに『JFA指導者研修会2025第14回フットボールカンファレンス』開催と、熊本にとって嬉しい話題が数多くあった」



開会にあたって挨拶する
県サッカー協会の河田会長



と述べ、「これも県内のサッカーファミリーの皆さんが、日頃から『世界基準』を念頭に活動している成果」と感謝の意を表しました。
河田会長の挨拶に続き、日本代表選手、文部科学大臣表彰、全国大会上位入賞の表彰を行い、参加した受賞者は晴れやかな表情で賞状や記念の花束を受け取りました。

チームやカテゴリーの枠を超えて 県サッカー界発展のため一丸に！

歓談を挟んで行われた受賞者のインタビューでは、それぞれが関係者へのお礼や感謝の言葉を述べました。その中で、ビーチサッカーW杯で日本代表としてプレーした木船祐樹さんは、「日本代表のユニフォームに袖を通すことが出来て誇りに思います。どのカテゴリーでも熊本県から日本代表が選出されているので、これからも各カテゴリーが切磋琢磨しあって、他県から『サッカー王国』と言われるようになってほしい」との思いを口にしました。



歓談の間には受賞者への
インタビューも行われました

また、高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグ2024ファイナルで優勝を果たした大津高校サッカー部顧問の宮崎祐介さんは、「この結果は大津高校だけで成し得たわけではなく、熊本が3種、4種の世代からレベルアップしているおかげ。熊本のサッカー界全体で勝ち取った優勝だと思っています」と話しました。
さらに、JFA第47回全日本U-12サッカー選手権大会優勝のソレツコ熊本の代表・廣川靖二さんとコーチ・三角将行さんは、「熊本には才能豊かな子たちが多い。試合に勝つだけでなく、そうした子たちを型にはめずに個性・特性を伸ばして、県全体のサッカーのすそ野を広げ、レベルを上げるのが我々の役割」と、今後の県サッカー界を見据えた発言がありました。

こうした表彰者の言葉にも代表されるように、それぞれのチームがレベルアップを図ることはもちろん、「熊本を全国有数のサッカー王国に」との目標に向けて、チームやカテゴリーの枠を超えて協力や連携を深めていることが、代表レベルの選手輩出や全国大会での好成績に結び付いていると言えます。
新年らしい華やいだ雰囲気の中で行われた祝賀会の締めとして、県サッカー協会の小野龍男副会長が挨拶に立ち、今後の熊本県サッカーのさらなる発展を祈念して閉会となりました。またこの日は、昨年1月に発生した能登半島地震被災地支援のための募金箱が受付に設置され、会場を後にする参加者は次々と浄財を投函していました。



開会の挨拶を行った小野龍男副会長



受付には能登半島地震への義援金を募る募金箱も設置

2024年度 熊本県サッカー協会表彰式



表彰を受けた方々。左から井嶋正樹様、松尾那緒弥様、河田信之会長、木船祐樹様、佐藤竜巳様(菊池郡市サッカー協会会長)

日本代表選手表彰

- 荒木遼太郎様/パリオリンピック日本代表
- 松尾那緒弥様/ビーチサッカーワールドカップ日本代表
- 木船 祐樹様/ビーチサッカーワールドカップ日本代表
- 野口 蓮斗様/U-16日本代表
- 井嶋 正樹様/U-17女子日本代表GKコーチ

文部科学大臣表彰

- 菊池郡市サッカー協会様/生涯スポーツ優良団体

全国大会上位入賞

- ソレツコ熊本様/JFA 第47回全日本U-12サッカー選手権大会・優勝
- サイレコ・エスペランサ熊本様/JFA バーモンドカップ第34回全日本U-12フットサル選手権大会・第3位
- 熊本県立大津高等学校サッカー部様/高円宮杯JFAU-18サッカープレミアリーグ2024WEST・ファイナル優勝

本物に触れてパラフットボールの楽しさを体感!



このコーナーでは、県サッカー協会が主催・主管する県内のサッカー大会やイベントの様子を紹介します。

第3回 パラフットボールフェスティバルin KUMAMOTO



「パラフットボール」とは、障がいを持つ方々が楽しめるよう工夫されたサッカーの総称で、パラリンピック種目にもなっているブラインドフットボール(視覚障がい)のほか、アンブレティサッカー(切断障がい)、デフサッカー(聴覚障がい)、IDサッカー(知的障がい)、ソーシャルフットボール(精神障がい)、CPサッカー(脳性麻痺)、電動車いすサッカー(重度障がい)の7つのサッカーがあります。

「パラフットボール」を、実際に見たり体験したりしてもらい、障がいのある人もそうでない人も、皆にスポーツをする喜びや関わる楽しさを感じてもらうために開催されているのが、「パラフットボールフェスティバルin KUMAMOTO」です。3回目となる今回は、2024年11月9日に、嘉島町の熊本県フットボールセンターCOSMOSで行われ、約300人が参加。ブラインドフットボールやアンブレティサッカー、デフサッカー、ウォーキングフットボール(歩いて行うサッカー)などを体験しました。



青空の下、参加者はさまざまなサッカーを体験しました

熊本大学が九州大学リーグ3部に昇格

2024年度 第39回九州各県大学サッカーリーグ決勝大会



昇格をかけた決勝大会に出場した熊本大学(青のユニフォーム)と崇城大学

昨年11月22日から24日までの3日間、大津町運動公園、益城町総合運動公園、山鹿カルチャースポーツセンター、熊本学園大学西合志グラウンドを会場に、「2024年度 第39回九州各県大学サッカーリーグ決勝大会」が開催されました。大会には九州・沖縄の各県代表8チームが参加。4チームずつ2つのパートに分かれて総当たり戦を行い、各パートの上位2チーム、計4チームが九州大学リーグ3部に昇格します。

熊本県からは、今年度の県学生リーグで上位だった熊本大学と崇城大学の2チーム

が会場に、熱戦を繰り広げました。崇城大学は健闘したものの残念ながら昇格はなりませんでしたが、熊本大学が2勝1分でパート1位となり、見事に九州大学リーグ3部昇格を果たしました。

この結果、来年度の九州大学リーグでは、熊本県から東海大学熊本と熊本学園大学の2チームが2部、熊本大学が3部に所属することになり、それぞれ上位リーグへの昇格を目指して戦います。ぜひ、各カテゴリーで奮闘する熊本県の大学への熱い声援をお願いします。





県サッカー協会理事で広報委員長を務めるフリーアナウンサーの風戸南陽子さんが、県内外のサッカーファミリーと対談するこのコーナー。今回は、八代市出身のブラインドサッカー選手で、東京2020パラリンピックでは日本代表としても戦った黒田智成選手に話を聞きました。



Blind Soccer

誰もがサッカーを楽しめる社会に そして日本のブラインドサッカーを、いつか世界一に！

黒田 黒田選手は、熊本県立盲学校から久留米大学に進み、その後筑波大学、大学院と進み、教師の道に進み、現在は東京都立文京盲学校の教員として勤めています。高校卒業以来、熊本を離れた生活ですが、当時はどんな思いでしたか？

黒田 自分の将来を考えた時、それまでは盲学校の中で、ある意味守られた環境でした。しかし、「目が見える人たちと同じ立場で勉強してみたい」という思いが強くなり、大学進学を目指しました。そこで、当時特に興味があった心理学について学べる大学を探し、久留米大学を選びました。

風戸 心の中は誰も見ることができませんよね。それなら「目の見えない自分でも対等な立場で学べるのでは」と思ったのがきっかけです。黒田 そんな中、ブラインドサッカーとの出会いは、どのような形でしたか？



ブラインドサッカー
くろかわ ともなり
黒田 智成選手
1978年、八代市生まれ。2002年、筑波大学大学院に在籍時にブラインドサッカーの講習会に参加したことがきっかけでプレーを始める。これまで日本選手権やクラブチーム選手権での優勝、両大会でのMVP獲得などの実績を誇り、長くブラインドサッカー日本代表としても活躍。東京都立文京盲学校教員として働きながら、現在も現役プレイヤーとして活動している。

黒田 当時のまだ選手数も少なく、とにかくメンバーをかき集めて国際大会に遠征するという感じでした。ですから、「最初の試合経験」「代表戦」ということになりました(笑)。風戸 それでも、幼いころから憧れていたサッカーで、しかも「日本代表」になれたというのは凄いですね。黒田 アニメ「キャプテン翼」に憧れて、一人でボールを蹴ったりしていました。実際にサッカーの試合を見たこともありませぬし、もちろんプレーもしたこともありませんでした。ですから、「どうしようもない」という思いが強くなり、日本代表で国際試合に出られると、ワクワクした気持ちで試合に臨んだことを覚えています。初めての試合を行った韓国代表から、ブラインドサッカーがどういふものを教えてもらいました。そこから「自分たちも、もっと上手くなりたい」と思い、練習にも一層熱が入るようになりました。

風戸 ブラインドサッカーは、全員がアイマスクをつけてプレーする競技で、見えていないのにも関わらず、ボールが転がる音や音の鳴って位置が分かるようになっていきます。ディフェンスはボールを持った選手に近づくと、「ホイ」という声を出して進んで行く他、敵陣ゴール裏には自チームのガイド(目が見える健康者)がいるというスタイルです。黒田 選手にとってブラインドサッカーは、どんなところが魅力だったか、逆に難しさはありましたか？

黒田 まず、サッカーもブラインドサッカーも「目」が見ることがないので、どういう動きが必要なのかを頭の中にイメージするまでに時間がかかりました。一つ一つ動きを覚えてもらい、自分でも調べたりしながら身体に叩き込み、イメージできるまで繰り返し練習

ピッチの中にある「自由」が ブラインドサッカーの最大の魅力

風戸 そのメンタルは、どうやって培われてきたんでしょうか？

黒田 実際は、試合の前日は眠れないくらい緊張します(笑)。ただ、試合が始まってしまえば、その緊張感をプラスに変えて、「思いっきり試合を楽しもう」「自分の持っているスキルを全て出す」というところにだけ集中するようにして、それが良い結果につながってきたのかなと思います。

風戸 ブラインドサッカー日本代表のプレースタイルというのは、何か特長がありますか？

黒田 「良い守備から良い攻撃へ」という意識ですね。世界に通じるディフェンスを作るために、例え一対一で負けても、しっかりと連携して複数でポジションを確認しながらディフェンスを作っていく、そこで奪った後にカウンターで仕留めるといったスタイルを取り組んでいました。

風戸 その「仕留める」役割を黒田選手が担っていた訳ですね。

黒田 東京パラリンピックの時のファーストゴールも、まさにそういう形でした。自分の最も得意な形であり、一番練習した形でゴールを決めることが出来て本当に嬉しかったです。風戸 私たちにとっても嬉しいゴールでした。世界の舞台も経験しながら、これだけ長く競技を続けられる秘訣は何ですか？

黒田 ずっとパラリンピックに出場することを目標にやっていた「あと一歩」というところで、ずっと出場の機会を逃してきた時代がありました。もちろん苦しい状況ではありましたが、自分の中で少しづつでも今日の自分を超えていくためにどうすれば



大きな試合の前は眠れないほど緊張： ピッチに立てば、試合を楽しむことに集中



風戸 よいかということを考えながら取り組んで、それが一日一日積み重なって22年も続けられたのだと思います。

風戸 現在は、東京都の文京盲学校に勤めながら「たまハッサーズ」でプレーしていますが、どのような日々を過ごしていますか？

黒田 職場が自宅から遠いので、よいいかということ考えながら取り組んで、それが一日一日積み重なって22年も続けられたのだと思います。

風戸 現在は、東京都の文京盲学校に勤めながら「たまハッサーズ」でプレーしていますが、どのような日々を過ごしていますか？

黒田 職場が自宅から遠いので、よいいかということ考えながら取り組んで、それが一日一日積み重なって22年も続けられたのだと思います。

黒田 私は子どもの頃から、ただただボールを蹴ることが好きで、夜遅くまで一人でボールを蹴っていました。目が見えても見え

朝5時過ぎに起きて6時過ぎには家を出ます。それから電車で1時間20分くらいかけて職場に向かいます。仕事を終えて午後6時くらいから、個人練習をして帰宅するという感じです。風戸 そして週末が、チームでのトレーニングや試合ですかね。黒田 そうですね。代表での活動が多かったパリパラリンピックまでは、週末はほぼ合宿があり、平日の夜も練習をしていました。現在は代表活動がなくなったので、土日にチームの練習をするという形になりました。風戸 代表時代は、仕事との両立を含め、本当に大変だったんですね。黒田 どうやって時間を作るかという点では、本当に苦労しました。ただ、ブラインドサッカーの活動が仕事にプラスの影響を与えることもありましたし、仕事でやっていることが代表にもプラスに働いているという相乗効果も感じました。

風戸 黒田選手の今後の「夢」などはありますか？

黒田 今、私は東京のチームでプレーしていますが、残念ながら熊本にはまだブラインドサッカーのチームがなく、ブラインドサッカーの試合も行われたことがありません。ですから、ぜひ熊本で生の試合を見ていただける機会が作れたらという目標があります。もう一つは、若い世代にぜひ「世界一」になってもらえよう努力していきたいなと思っています。これまでも、一緒にプレーしながら次の世代の選手たちの強化を意識してきました。私が彼らに何かを教えるということではなく、「一緒にプレーする中で」「どうすれば世界一になれるか？」を考えて戦ってきました。今後は、私の経験を若い世代に伝えていくのが役割だと思っています。

風戸 最後に、熊本のサッカーファミリーの皆さんにメッセージをお願いします。

黒田 私は子どもの頃から、ただただボールを蹴ることが好きで、夜遅くまで一人でボールを蹴っていました。目が見えても見え

なくても、サッカーは私たちに喜びや夢を与えてくれる力があると思っています。今日まで残念ながら、まだ熊本でブラインドサッカーを見ていただく機会はありませんが、ぜひブラインドサッカーを体験したり、試合を見たりして、さまざまな障がい者サッカーに触れてください。そして、障がいの有無に関わらず、誰もがサッカーを楽しめるような社会になっていくと嬉しいなと思っています。



県協会所属チーム紹介

Pick-up! Football Family Vol.21

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎月紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。

プロ選手も輩出した歴史あるクラブ フットサルスクールでも全国3位に!

サイレコ・エスペランサ U-12
フットサル

- 設立/2000年
- 代表/黒木 直幸
- 選手数/30名

(チーム沿革)

- 2000** (平成12年) チーム発足
フットサルスクール開始
- 2017** (平成30年) JFAバーモントカップ第27回
全日本U-12フットサル選手権大会出場
- 2024** (令和6年) JFAバーモントカップ第34回
全日本U-12フットサル選手権大会3位

練習は毎週水曜の19時から、河江小体育館で実施。2面のコートを使い、3年生と4年生、5年生と6年生に分かれて行っている



元々、8人制のサッカークラブに所属している選手が多いため、基本的なボールスキルが高いのが強み



取材に伺った日は、全国3位の主力となった6年生と、新年度の中心になる5年生が1対1のボールキープに取り組んでいた



2時間の練習もゲームを想定した内容で、個人技だけでなくコンビネーションから得点につながる場面も多数



小学校の体育館を使用しているため、練習後のゴール片付けやフロアのモップがけも自分たちで行う



4度目の出場となったJFAバーモントカップ第34回全日本U-12フットサル選手権大会で3位入賞。準決勝で、優勝した埼玉県代表のチームに敗れたが、チームとして過去最高の成績

昨夏行われた「JFAバーモントカップ第34回全日本U-12フットサル選手権大会」で、7年ぶりに出場したエスペランサ熊本U-12が3位入賞を果たしました。一昨年の「JFA第47回全日本U-12サッカー選手権大会」では、ソレツソ熊本が4種で県勢として初めて全国の頂点に立っており、熊本県全体としての長期的な強化の取り組みが、こうした育成年代での目覚ましい成果につながっていると云えます。

エスペランサ熊本は、2000年に八代市を中心とした県南エリアを拠点に誕生。これまでに一美和成選手(フアジャアノ岡山)や相澤佑哉選手(ロアッソ熊本※クリアソン新宿に期限付き移籍中)といったJリーグも輩出してきた歴史あるクラブです。その一方、社会人チーム、ビーチサッカーチーム、NPO法人の設立、総合型地域スポーツクラブへの移行など、サッカーを通して地域を盛り上げるために活動の幅を広げてきました。

U-12のフットサルチームは、クラブに所属しない子どもでも参加できるスクール形式で活動。小学3〜6年生、およそ30人が

毎週水曜の19時から、宇城市小川町の河江小学校体育館で約2時間の練習に励んでいて、8人制のサッカーとは異なるフットサルの技術、戦術を高めています。指導にあたるのは、自身も過去に同クラブの選手としてプレーし、ビーチサッカー日本代表に選出された経歴を持つ黒木直幸さん。「低学年から、8人制サッカーの練習を通してベイスができていく選手が多く、フットサル特有の戦術を落とし込んでゲームごとの作戦を伝えれば、それを理解する賢さとプレーで表現できる技術がありました。それが3位という成績を残せた要因だと思います」と話すように、8人制サッカーの

コーチ陣との連携も結果につながりました。

指導する上で大事にしているのは、子ども達が「自分で考える力を身につけられる」ようになること。「フットサルを経験すると、プレー中の判断以外にも、競技を続けていく上での選択肢が広がるメリットがあります。それがひいては、サッカーを離れて大人になって社会で生きていく上でも、必ず生きてくると思います」と黒木さん。

各種大会で結果を出すことに加え、このチームからJリーグ、Fリーグでプロとして活躍できる選手を輩出し、フットサルとクラブの認知度をさらに高めていくことがこれからの目標です。



黒木 直幸 監督

フットサルの経験は、中学、高校に進んでサッカーを続ける上でも役立つと思いますし、仮にサッカーで挫折したり、部活が終わって燃え尽きたりしても、ビーチサッカーやフットサルが選択肢にあれば、楽しみながら長くプレーできると感じます。



野田 汰史さん

テクニックとアイデアが大事なところがフットサルの魅力です。1対1で負けない強い気持ちと、個性を活かしたプレーが自分たちの強み。初めての全国大会で経験した、強いチームと対戦した時の「逃げない気持ち」を今後に生かしていきたいです。



俣嶋 一路さん

8人制のサッカーと比べてコートが狭いので、味方同士でパスをつなぐ連携プレーがたくさんできるのがフットサルの魅力です。相手の寄せが早くボールを奪われることもありますが、頭を使う場面が多く判断力が付くので、サッカーにも生かせると思います。



渡辺 景太さん

自分が好きなドリブルがたくさんできて楽しそうだと思います。5年生からフットサルを始めました。みんなが負けず嫌いでチームの雰囲気を盛り上げたことが、全国大会で3位になれた理由だと思います。将来は、世界で一番得点できるストライカーになるのが目標です。

COSMOS 2周年祭

ふれあいファミリーDAY開催



親子連れなど**1500人以上**が来場!

ジュニアサッカースクールでは、北澤さんの分かりやすい指導で子どもたちの動きもみるみるうちに良くなりました

子どもたちは、パルオニやはたらくものりもの乗車体験、どろだんご作り体験など、さまざまなアトラクションに夢中でした!

昨年11月4日、熊本県フットボールセンターCOSMOSの開設2周年を記念し、「ふれあいファミリーDAY」を開催しました。これは、日頃COSMOSを利用しているサッカーファミリーだけでなく、地域の方々にも広くCOSMOSを知って使ってもらい、スポーツや文化の交流拠点としての役割を果たしたいとの思いから開いているものです。

当日は、元サッカー選手の北澤豪さんによるジュニアサッカー教室やJFAガールズサッカーフェスティバルといったサッカー関連のイベントはもちろん、どろだんご作り体験、はたらくものりもの乗車体験、パルオニ(バルクールと鬼ごっこを組み合わせた新スポーツ)など、誰もが楽しめるイベントも用意され、多くの来場者で賑わいました。

またこの日は、芝生広場で絵本とマルシェとピクニックをテーマにしたイベント「らららピクニック」も同時開催。絵本図書館やミニSL乗車体験のほか、人気の飲食店や雑貨店などが集まるマルシェも開かれ、晴れ渡る秋空の下、親子連れなどが思い思いに楽しんでいました。



芝生広場で同時開催された「らららピクニック」では、飲食や物販ブースが並び賑わいました



特別協賛 / **TOA 東亜道路工業株式会社**

協力/公益財団法人日本サッカー協会、株式会社シアーズホーム、肥後銀行、一般社団法人バルクール公益財団法人日本サッカー協会、株式会社シアーズホーム、肥後銀行、一般社団法人バルクール 鬼ごっこ協会、らららピクニック、嘉島湧く湧く元気クラブ、熊本県ベタンク連盟 鬼ごっこ協会、らららピクニック、嘉島湧く湧く元気クラブ、熊本県ベタンク連盟 | 後援/熊本県教育委員会、嘉島町教育委員会

Result 各カテゴリー大会結果報告

県サッカー協会の各カテゴリーの試合結果をお知らせします。

県内大会・県予選

〈一種 学生〉

KFA 2024年度 大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会
 日程：2024年6～12月
 会場：県内各大学・高専グラウンド
 結果：優勝/東海大学熊本
 準優勝/熊本学園大学
 第3位/熊本大学

〈二種〉

第103回全国高等学校サッカー選手権大会熊本県大会
 日程：2024年10/5～11/16
 会場：水前寺陸上競技場 他
 結果：優勝/大津高校
 準優勝/東海大学付属熊本星翔高校
 第3位/ルーテル学院高校、熊本国府高校

KFA 第20回熊本県高等学校女子サッカー選手権大会
 日程：2024年10/13～11/12
 会場：益城町総合運動公園 他
 結果：優勝/秀岳館高校
 準優勝/東海大学付属熊本星翔高校
 第3位/慶誠高校

高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2024熊本1部

日程：2024年4～12月
 会場：県内各会場
 結果：優勝/大津高校3rd
 準優勝/東海大学付属熊本星翔高校
 第3位/熊本商業高校

〈四種〉

KFA 第50回熊日学童オリンピックサッカー競技大会
 日程：2024年6/1～18
 会場：熊本県フットボールセンターCOSMOS 他
 結果：優勝/ブレイズ熊本ジュニア
 準優勝/嘉島セルシアFC
 第3位/マリーゴールド熊本、カベッサ熊本K

JFA 第49回全日本U-12選手権熊本県大会
 日程：2024年11/3～24
 会場：県民運動公園補助競技場 他
 結果：優勝/ソレツ熊本U-12V(第1代表)
 準優勝/FC BIG WAVE
 第3位/サンズ甲佐(第2代表)、嘉島セルシアFC

第24回スポーツハヤカワカップ 第46回熊本県少年サッカー新人大会(田嶋杯)

日程：2024年11/30～12/21
 会場：えがお健康スタジアム 他
 結果：優勝/ソレツ熊本U-12V
 準優勝/マリーゴールド熊本
 第3位/ブレイズ熊本ジュニア、FC Ant's

KFA 第56回熊本県少年サッカー選手権大会(大谷杯) 兼第56回九州少年サッカー大会熊本県代表決定戦

日程：2025年1/25～2/9
 会場：えがお健康スタジアム 他
 結果：優勝/ロアッソ熊本ジュニア
 準優勝/ブレイズ熊本ジュニア
 第3位/ソレツ熊本U-12V、ひとよしFC U-12



大会結果、8ページへ続きます➡

→大会結果、7ページからの続きです

〈女子〉

KFA 第29回熊本県U-15女子サッカー選手権大会
兼JFA 第29回全日本U-15女子サッカー選手権大会
熊本県大会

日程：2024年9/14～16
会場：甲佐総合運動公園サッカー場
結果：優勝/益城ルネサンス熊本FC

KFA 第34回熊本県U-12女子サッカー選手権大会
兼ガールズゲーム(U-12)サッカーフェスティバル
第11回なでしこMIYAZAKIカップ熊本県大会

日程：2024年10/19、26
会場：甲佐総合運動公園サッカー場
結果：優勝/MELSA 熊本FC ポニータ
準優勝/ピアンカスにしはら
第3位/エボルピア荅北ガールズ

九州大会

〈一種学生〉

第39回九州各県大学サッカーリーグ決勝大会

日程：2024年11/22～24
会場：大津町運動公園 他
結果：熊本大学(パート1位、来年度九州大学リーグ3部昇格)
崇城大学(Bパート4位)

〈二種〉

KYFA 第42回九州女子サッカー選手権大会

日程：2024年10/12～14
会場：南さつま市楠志田サッカー場(鹿児島) 他
結果：第2代表/秀岳館高校
準優勝/MIGOCARISA鹿児島
第3代表/神村学園高等部(鹿児島)
準優勝/国見FCレディース(長崎)

〈女子〉

KYFA 第36回九州0-30女子サッカー大会

日程：2024年12/14、15
会場：大分スポーツ公園
結果：優勝/ENSOWA KUMAMOTO(熊本)
準優勝/トナカイレディースF.C.(福岡)
第3位/Oita Obasan Select(大分)

KYFA 第29回九州U-15女子サッカー選手権大会

日程：2024年11/～4
会場：福岡フットボールセンター
結果：優勝/八女学院女子フットボールクラブ(福岡)
準優勝/FC琉球aleさくら(沖縄)
第3位/ANCLASノーヴァ(福岡)
※MELSA熊本FCソヒア準決勝敗退(第4位)、
益城ルネサンス熊本FC 初戦敗退

KYFA 第28回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2024年11/16、17
会場：島原市平成グラウンド(長崎)
結果：第1代表/大分トリニータレディース
第2代表/モゼーラ鹿児島FC
※熊本ユナイテッドSCフローラ初戦敗退

KYFA 第22回九州女子サッカーリーグ・チャレンジ大会

日程：2025年1/11、12
会場：ブラックモンブランフットボールセンター(佐賀)
結果：優勝/水俣ユニオンFCウイメン
準優勝/ヴィアマテラス宮崎学園FC(宮崎)

全国大会

〈二種〉

高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグ2024WEST

日程：2024年4/6～12/8
結果：優勝/大津高校
準優勝/ヴィッセル神戸U-18
第3位/サンフレッチェ広島F.Cユース

高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグ2024ファイナル

日程：2024年12/15
会場：埼玉スタジアム2002
結果：優勝/大津高校
準優勝/横浜FCユース

〈四種〉

JFA 第48回全日本U-12サッカー選手権大会

日程：2024年12/26～29
会場：白波スタジアム(鹿児島) 他
結果：優勝/東京ヴェルディジュニア
準優勝/パディーSC(神奈川)
※ソレック熊本U-12V(第1代表/ラウンド16進出)、
サンズ甲佐(第2代表/予選リーグ2勝1敗にて敗退)



トレメシ Vol.21

アスリートのためのトレーニング食(めし)、レシピ

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください!



記録的な寒波に見舞われるなど、厳しかった冬がようやく終わりを告げ、気温の上昇とともに徐々にパフォーマンスも上がってくる時季です。しかし、冬場に落ちていた免疫力をしっかりと高めてから体を動かさないと、ケガや病気の原因にもつながります。食事でできる対策も取り入れましょう!

渡邊 まみさん/食育料理研究家、アスリートフードマイスター
熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍。また、長男は現在も社会人チームでサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram(mamipan358)で情報発信中。

recipe 1 山芋と豆腐のふわとろ和風グラタン

栄養豊富でスタミナ食材としても知られる山芋ですが、その効能の一つに「免疫カアップ」があります。また、筋肉などをつくるのに欠かせないたんぱく質が豊富に含む豆腐ですが、たんぱく質不足は、体力はもちろん免疫力の低下にもつながると言われています。免疫力を高めるのに効果的な2つの食材を組み合わせ「最強」メニューで、ケガや病気に負けない体を作りましょう。



- 材料(2人分)
山芋.....300g
卵.....1個
塩麹.....小さじ1
豆腐.....150g
削り節.....5g
ピザ用チーズ.....10～20g
ブラックペッパー.....適宜
お好みで
大葉、ネギ、ゴマ、刻み海苔.....適量

- 【作り方】
①山芋は皮を剥いてすりおろす。
②ボウルに豆腐を入れ、泡立て器でよく混ぜてから、卵、塩麹、削り節、ブラックペッパーを加えてさらに混ぜる。
③耐熱皿に②を入れ、チーズをのせて180℃のオーブンで7～8分焼く(表面がこんがり色づくまで)。仕上げにお好みで刻んだ大葉などを散らす。

recipe 2 サツマイモのガトーインビジブル

サツマイモは、炭水化物、食物繊維、ビタミンC、ミネラルなどが豊富です。その一つ、ベータカロテンは、免疫力強化に効果があるとされ、健康維持に欠かせない栄養素です。さらに、卵や豆乳といったたんぱく質をたくさん摂れる食材も使っているので、アスリートの補食としてピッタリなおやつです! 秋には、サツマイモとリンゴで作るのもいいですよ!



- 材料(2人分)
サツマイモ.....300g(中1本)
玄米粉.....100g
メープルシロップ.....50g
たまご.....2個
無調整豆乳.....50g
塩麹.....10g
お好みで
シナモン、ゴマ.....適量

- 【作り方】
①サツマイモは皮をよく洗い、スライサーで薄くスライスする。5分ほど水にさらしてから水気を切る。
②ボウルに卵と豆乳、メープルシロップを入れ、泡立て器で混ぜる。お好みでシナモンを加える。
③②に玄米粉を入れて混ぜ合わせ、さらにサツマイモを入れて混ぜる。クッキングシートを敷いた型にサツマイモを重ねて入れ、残りの生地を流し込む。お好みでゴマをトッピング。
④予熱した170℃のオーブンに③を入れて45～50分焼く。
⑤オーブンから取り出して粗熱をとり、冷蔵庫で冷やしてから好みの大きさにカットする。

編/集/後/記

3月に入り春の足音が聞こえ始めた今日このごろ。Jリーグも開幕し、フットボールファミリーには楽しいシーズンになりました。ロアッソは、開幕戦を落としましたが昨年のJ2・3位チームをあと少しのところまで追い詰め、今後に期待を抱かせる戦いを見せてくれました。また、W杯U20アジア予選も開催されており、若き侍が世界へ羽ばたこうとしています。W杯の切符は勝ち取ったものの勝負に対するしたたかさは…。本大会では、ぜひ日本の力を見せつけてほしいと願っています。頑張れニッポン!(フットサル委員会 山口)

熊本県サッカー協会に登録している郡市協会は、全部で26団体あります。各地域の協会が毎年地域のサッカー大会や教室などを開催してサッカーの普及に尽力されていますが、協会役員の高齢化などによる活動の減少など、課題もあります。とある協会は、役員若返りを図りさまざまなイベントなどを開催して成功しています。今後は、各地域が盛り上がることにより、良い人材・選手が発掘され、ひいては熊本県サッカー協会の発展にも繋がると考えております。(地域委員会 富田)

「KFA NEWS」は、ここで手に入れよう!

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>

右記QRコードからもアクセスできます→

